

【資料3】

大阪市結核対策指針進捗状況



大阪市結核対策基本指針進捗状況（平成29年12月）

基本指針【目標】	備考										
	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	平成31	平成32
大目標：10年間で結核罹患率半減【平成32年：25以下】 《平成21年：49.6》	47.4 (46.6)	41.5 (43.8)	42.7 (41.1)	39.4 (38.6)	36.8 (36.3)	34.4 (34.1)	32.8 (32.0)	30.1 (30.1)	28.2 (28.2)	26.5 (26.5)	25.0 (25.0)
副次目標											
・咳嗽痰抹陽性患者罹患率半減【平成32年：10以下】 《平成21年：23.9》	20.8 (22.1)	18.6 (20.4)	19.1 (18.8)	18.2 (17.3)	17.0 (16.1)	15.3 (14.8)	14.6 (13.7)	12.6 (12.6)	11.6 (11.6)	10.8 (10.8)	10.0 (10.0)
・小児（14歳以下）結核患者の発生ゼロ【平成32年：0人】 《平成21年：2人》	0 2 1 3	1 0 0 1	1 0 1 2	0 0 1 1	1 0 2 3	0 0 0 0	0 0 4 4	0 0 4 4	0 0 4 4	0 0 4 4	0 0 4 4
・菌陽性初回治療肺結核患者の多剤耐性率減少【平成32年：0.5%以下】 《平成21年：0.7%》	688 8(1.2)	600 5(0.8)	607 8(1.3)	524 2(0.4)	492 3(0.6)	407 5(1.2)	527 1(0.01)				
初回治療肺結核のうち薬剤感受性判明数											
初回治療多剤耐性患者数（%）											
再治療肺結核のうち薬剤感受性判明数	73	61	76	57	48	25	43				
再治療多剤耐性患者数（%）	4(5.5)	5(8.2)	3(3.9)	4(7.0)	0(0.0)	3(12.0)	0(0.0)				

1. 適正な結核治療の推進											
①適正な治療											
●新登録肺結核患者の治療失敗・脱落中断割合を3%以下 《平成21年：6.5%》	4.0%	6.2%	5.0%	4.5%	4.3%	4.2%	4.2%				
★新登録全結核患者80歳未満中PZAを含む4剤標準治療開始割合を85%以上 《平成21年：83.2%》	84.2%	84.0%	82.0%	81.0%	81.6%	82.5%	82.8%				
②多剤耐性結核の対応											
●新登録肺結核患者の再治療率を5%以下 《平成21年：10.5%》	114(10.5)	99(10.3)	119(12.4)	99(10.7)	89(10.5)	62(7.7)	62(8.1)				
●再治療者のうち治療終了後2年以内の再発を10%以下にする 《平成21年：18.0%》	23(20.0)	14(14.0)	11(9.2)	16(16.2)	14(13.9)	7(10.2)	9(12.0)				
(例) H23-24に治療/H25再治療者数											

大阪市結核対策基本指針進捗状況（平成29年12月）

基本指針		平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	平成31	平成32	備考
③患者管理の徹底		79.9%	80.9%	88.8%	90.2%	91.0%	92.4%	93.9%					
●新登録患者（喀痰塗抹陽性患者）に対する3日以内の面接を100%実施 《平成21年：82.5%》		62.8%	71.6%	76.0%	76.5%	83.4%	86.0%	87.0%					
●新登録患者（喀痰塗抹陽性患者以外）に対する7日以内の面接を100%実施													
●肺結核菌培養・感受性・同定検査結果を2か月以内に95%把握 ＜短期目標85%、中期目標90%＞													
●菌培養把握/肺結核 感受性把握/培養陽性肺結核 同定把握/培養陽性肺結核													
④服薬支援の推進													
★肺結核患者を対象とした地域DOTS（週1回以上）開始率			63.0%	64.4%	76.2%	74.7%	81.8%	79.2%					
★肺結核患者を対象とした地域DOTS（月1回以上）開始率			95.0%	95.6%	98.1%	97.3%	98.4%	92.7%					
全肺結核患者			967	967	926	848	769	741					
地域DOTS実施対象者(a)			671	702	631	585	554	533					
地域DOTS（週1回以上）実施者(b)			423	452	481	437	453	422					
地域DOTS（月1回以上）実施者(c)			637	671	619	569	545	494					
*平成25年以降の週1回以上のDOTS対象者は、全肺結核患者													
*平成23・24年の週1回以上のDOTS対象者は、菌培養陽性患者リスクアセスメント項目該当菌培養陽性患者													
★（再掲）あいりん地域以外の肺結核患者を対象とした地域DOTS（週1回以上）開始率			—	—	74.3%	76.5%	80.4%	78.0%					
★（再掲）あいりん地域の肺結核患者を対象とした地域DOTS（週1回以上）開始率			—	—	98.0%	95.0%	93.2%	91.3%					
●あいりん地域の肺結核患者を対象とした「あいりんDOTS」（週1回以上）の開始率80%以上			82.8%	83.6%	84.1%	79.6%	69.5%	71.7%					
●あいりん地域以外の肺結核患者を対象とした「ふれあいDOTS」（週1回以上）の開始率80%以上			57.1%	54.3%	66.5%	68.7%	34.9%	26.1%					
●あいりん地域以外の肺結核患者を対象とした「ふれあいDOTS」（週1回以上）の中で、 喀痰塗抹陽性患者に対する開始率85%以上			82.1%	82.5%	81.7%	79.6%	40.6%	30.1%					

大阪市結核対策基本指針進捗状況（平成29年12月）

基本指針		平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	平成31	平成32	備考
2. 早期発見・早期治療の徹底													
①接触者健診の徹底													
●喀痰塗抹陽性患者にかかる登録直後及びびびりか月の（個別）接触者健診を100%実施 《平成21年：94.3%》		—	—	94.0%	95.7%	96.1%	94.9%	92.9%					
●（個別）接触者健診対象者への健診完了率（2年間）80%以上 《平成21年：76.2%》		—	—	68.4%	74.4%	78.2%	78.6%	85.1%					
●喀痰塗抹陽性患者にかかる登録直後及びびびりか月の（集団）接触者健診を100%実施 《平成21年：99.1%》		97.2%	83.6%	95.7%	95.1%	96.7%	98.6%	94.7%					
●（集団）接触者健診対象者への健診完了率（2年間）80%以上 《平成21年：69.4%》		—	—	86.4%	84.7%	81.3%	88.8%	88.8%					
②リスクグループ等への対策													
ア. あいりん地域対策													
★あいりん地域における結核罹患状況													
		155	128	95	113	99	96	76					
		71	51	18	28	26	22	16					
		145	123	88	110	95	89	72					
		65 (45)	52 (42)	43 (45)	63 (57)	42 (44)	51 (57)	34 (47)					
		37 (26)	32 (26)	11 (12)	29 (26)	31 (33)	34 (38)	27 (38)					
		3570	3138	2927	5043	5663	6267	6362					
		35	14	3	31	77	129	135					
		1.04%	0.61%	0.65%	0.65%	0.72%	0.53%	0.47%					
		1	1	1	48 (1248)	47 (1450)	30 (695)	34 (734)					
●あいりん地域における結核健診＊ ※平成25年以降は西成特区事業によるあいりん地域対象の健診も含む													
イ. ホームレス対策													
●ホームレスに対する結核健診		—	—	—	—	—	—	—					
ウ. 外国人対策													
●日本語学校に所属する外国人に対する結核健診		—	1,067	1,927	2,116	2,433	3,191	4,101					
		—	0.37%	0.52%	0.24%	0.08%	0.12%	0.07%					
		—	5 (65)	4 (88)	1 (37)	7 (78)	11 (113)	16 (119)					
エ. 高齢者対策													
●高齢者に対する結核健診		—	1,440	1,181	1,750	2,085	252	242					
		—	0.07%	0.08%	0.07%	0.05%	0.00%	0.04%					
		—	16 (505)	25 (735)	40 (953)	29 (476)	16 (252)	17 (286)					
		—	—	—	4 (152)	5 (382)	2 (124)	3 (140)					
オ. 医療従事者対策													
★医療機関の定期健康診断実施報告書提出率		—	1.3%	13.3%	12.6%	27.4%	20.2%	25.4%					

大阪市結核対策基本指針進捗状況（平成29年12月）

基本指針	平成22											備考
	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	平成31	平成32	
③市民の受診の遅れ対策 ●発病から2か月以上の医療機関受診率20%未満 《平成21年：21.9%》	22.2%	22.9%	19.0%	20.9	18.5	23.5	27.7					
④医療機関に対する早期診断の徹底 ●初診から1か月以上の確定診断率10%未満（中期目標15%未満） 《平成21年：19.5%》	26.8%	26.7%	27.4%	26.1%	25.7	20.7%	21.7%					
★診断から1日以内の全結核発症届提出率90%以上（中期目標80%以上） 《平成21年：65.9%》	62.3%	65.6%	63.3%	72.7%	77.3	80.0%	80.3%					
★発病から3か月以上の確定診断率 《平成21年：20.8%》	24.7%	24.1%	24.2%	22.8	22.1	23.7	27.4					
3. 予防の徹底 ●1歳未満の接種率100%達成 《平成21年：96.5%》	97.2%	96.5%	90.6%	81.1%	96.8%	94.9%	95.1%					
②普及啓発の充実 ★疫学調査回数 （再掲）医療機関に対する疫学調査回数	377 175	393 187	418 212	402 175	429 208	443 230	504 260					

第5回大阪市結核対策評価委員会 説明資料

1 リスクグループ等への対策

- (1) 外国人対策
- (2) 高齢者対策

2 西成区特区構想における結核健診

3 DOTS 実施状況と失敗・脱落中断割合の推移

4 家族 DOTS の分析

5 死亡事例の分析

6 VNTR 型別（遺伝子解析）の実施状況

7 コホート検討会の実施状況



1 リスクグループ等への対策

(1) 外国人対策

①背景

別紙参照

②日本語学校での結核健診

平成 23 年度より健診義務の対象となっていない者に対する健診を実施

	学校数	受診者数(人)	要精検者数(人)	患者発見数(人)	発見率 (%)
平成 27 年度	16	3,214	25	5	0.16
平成 28 年度	19	4,227	32	4	0.09
平成 29 年度※	24	4,673	33	16	0.34
計	74	14,525	120	27	0.19

※4～12 月実績 (概数)

③外国人及び関係者に対する普及啓発

ア 日本語学校 (平成 23 年度より実施)

・結核健診の事後フォロー、受診同行の依頼、服薬支援、接触者健診等について、訪問して協力連携を確認。新設校については、発生動向、結核健診、結核の治療と DOTS、医療通訳派遣について健康教育を実施。

	学校数	実施回数 (回)	参加者数 (人)	備 考
平成 27 年度	14	14	17	健診対象者・教員に実施
平成 28 年度	13	13	15	
平成 29 年度※	16	16	20	
計	48	48	113	

※4～12 月実績 (概数)

・日本語学校の協力を得ながらポスターを作成し、平成 27 年度 33 校、平成 28 年度 34 校、平成 29 年度 36 校に掲示を依頼。

イ 技能実習生監理団体

結核の症状、検査、予防、治療およびその他感染症 (感染性胃腸炎、インフルエンザ等) と予防について、60 分の講座。

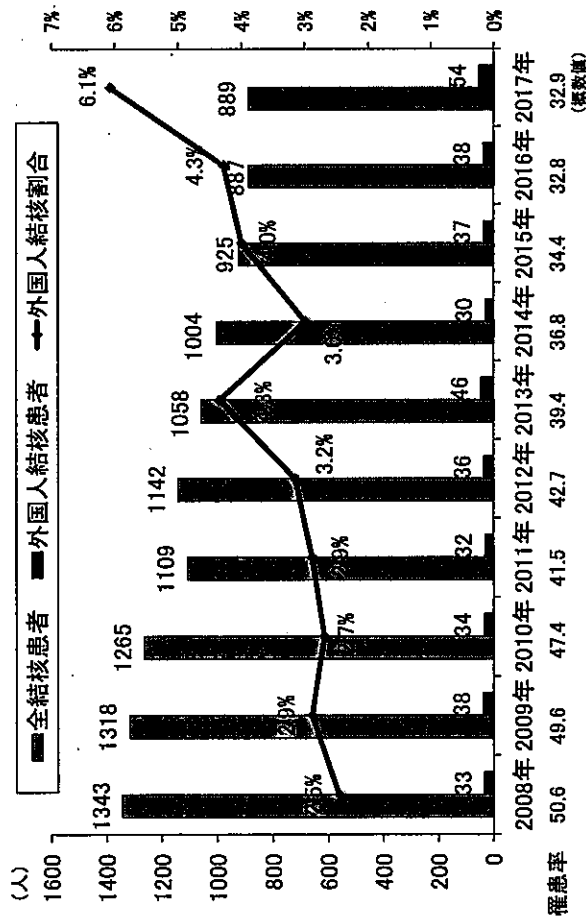
	施設数 (か所)	実施回数 (回)	参加者数 (人)
平成 28 年度	2	3	59
平成 29 年度※	4	7	177
計	6	10	236

※4～12 月実績 (概数)

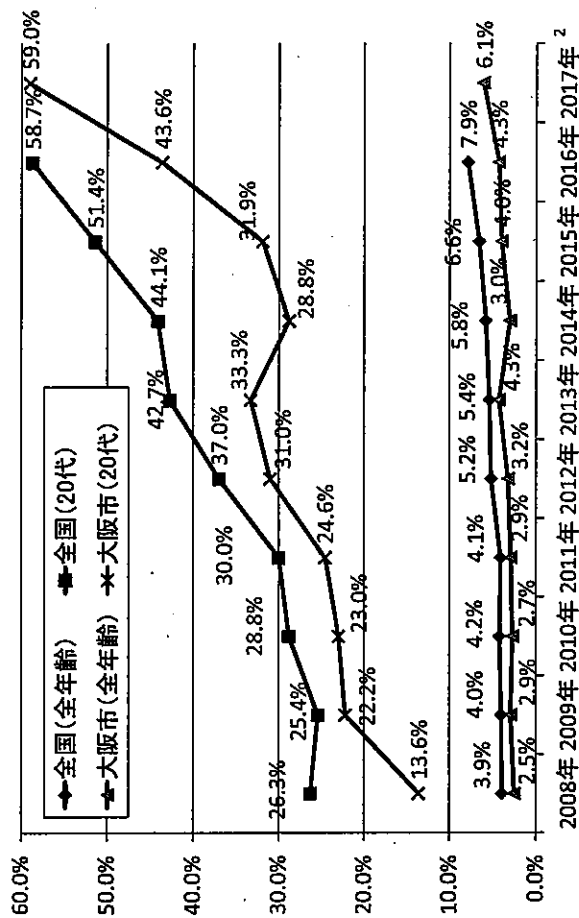
ウ その他

平成 28 年度より医療通訳者を対象に年 1 回研修を開催し、平成 29 年度より産業保健分野の健康管理者を対象に年 1 回産業保健総合支援センターで健康教育を実施している。

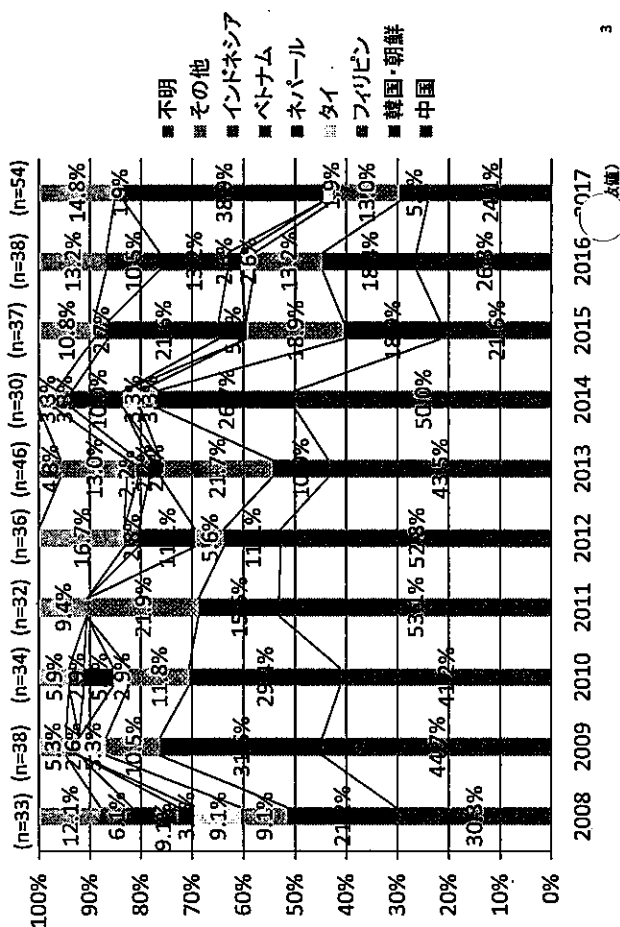
大阪市 結核患者に占める外国生まれの推移



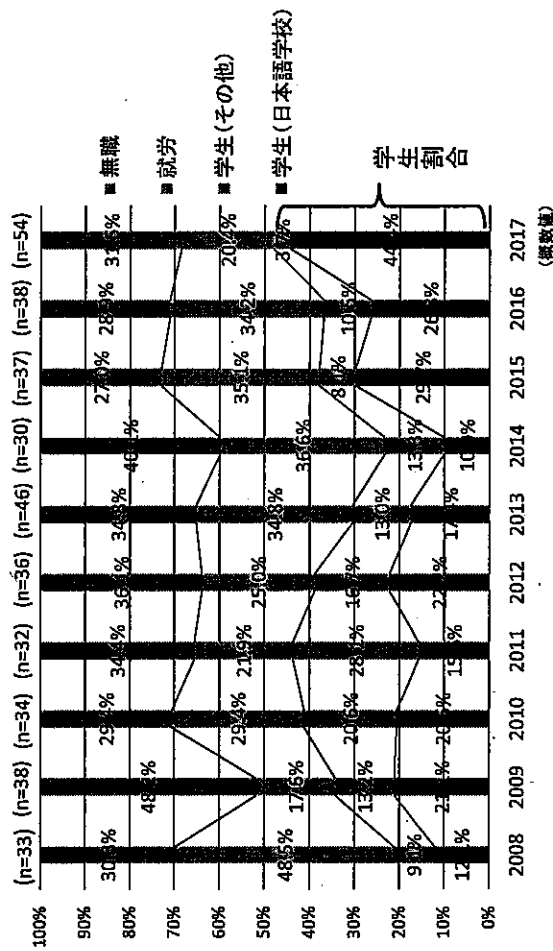
結核患者に占める外国生まれの推移 -全国と大阪市の状況-



大阪市 出生国の推移



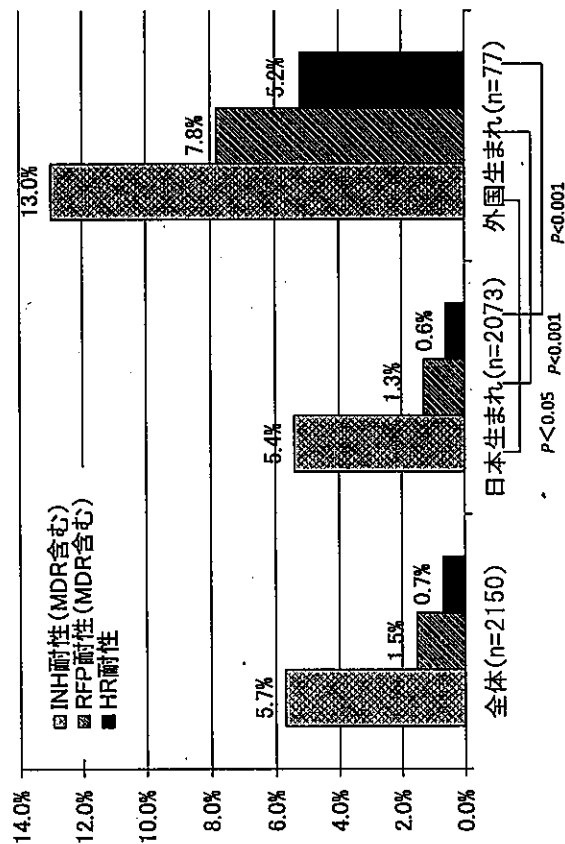
大阪市 職業別患者割合の推移



技能実習生20: 3名、2015年1名、2016年1名、2017年2名

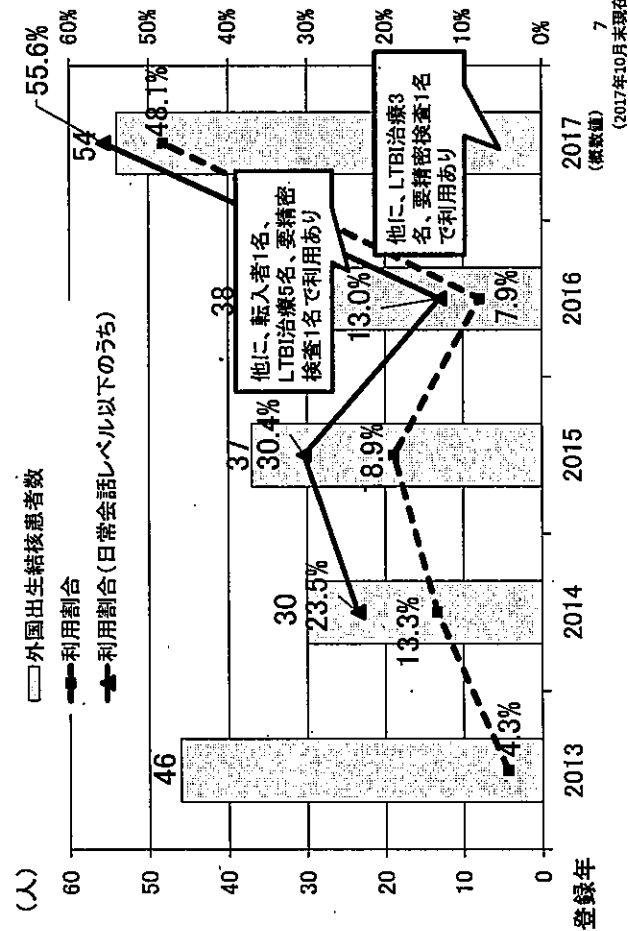
(2013-2016; n=2,150)

* 培養陽性かつHR感受性判明、出生国不明除く



5

(大阪市)医療通訳利用割合の推移



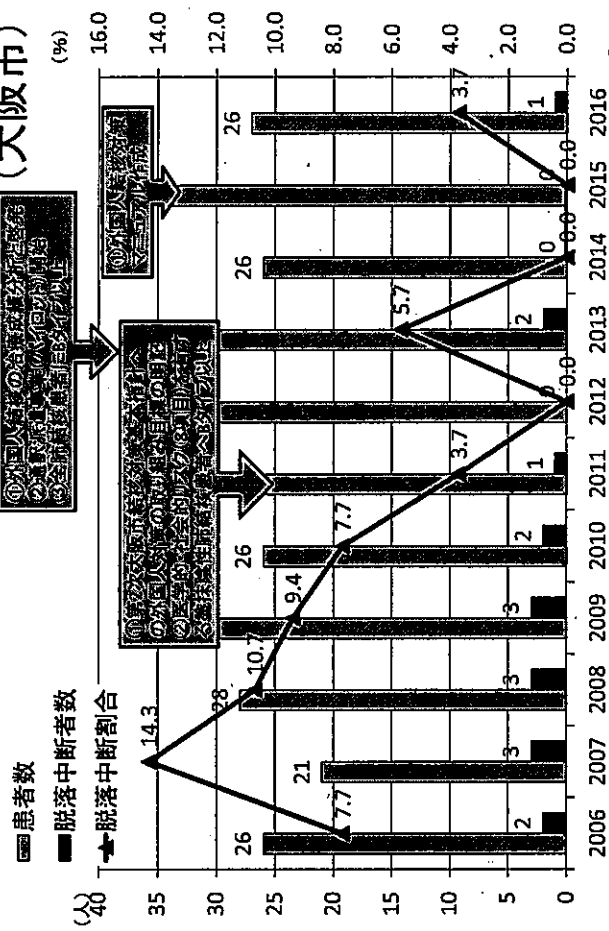
7

(大阪市)医療通訳と個別通訳

医療通訳		個別通訳
通訳者	委託事業所より派遣される通訳者(登録者リストに登録)	日本語学校教師、区役所職員、職場の上司・同僚、技能訓練派遣組合の関係者、家族・友人
患者との関係性	守秘義務など通訳倫理について理解している第三者(委託事業所による研修)	必ずしも第三者ではない 利害関係を生じる可能性がある
結核についての研修(保健所医師・保健師が年1~2回実施)	治療の継続及び服薬支援のための結核の専門知識や公費負担制度、入院勧告や退院基準、就業制限等の研修を受講している	受講していない
言語	中国語・韓国語・英語・タガログ語・タイ語・ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語など 多くの場合、母国の文化・慣習など背景を理解している	必ずしも患者の母国語ではない
回数	1人2-3回程度	特に制限なし
報酬	あり(1回90分)	なし(ボランティア)

外国出生肺結核患者の脱落中断割合の推移

(大阪市)



8

(2) 高齢者対策

①背景

別紙参照

②老人福祉センター等を利用する高齢者への結核健診（平成 25 年度より実施）

健診結果

(人)	受診者数	要精密検査者数	患者発見数	患者発見率 (%)
平成 27 年度	252	22	0	0.00
平成 28 年度	262	13	1	0.38
平成 29 年度※	232	8	0	0.00
計	1,064	58	1	0.09

※4～12 月実績（概数）

③居宅介護事業所等への結核健診の勧奨および健康教育

平成 25 年度より老人福祉センターを利用する高齢者および地域包括支援センター職員に対し健康教育を実施

ア 居宅介護事業所等

	実施施設数（か所）	実施回数（回）	受講者数（人）
平成 27 年度	1	1	24
平成 28 年度	4	4	240
平成 29 年度※	8	8	534
計	18	18	1,180

※4～12 月実績（概数）

イ 老人福祉センター

	実施施設数（か所）	実施回数（回）	受講者数（人）
平成 27 年度	16	16	276
平成 28 年度	17	17	291
平成 29 年度※	15	15	242
計	68	68	1,104

※4～12 月実績（概数）